

基本目標 3 自立した個人の生き方を尊重し支え合える家庭づくり

施策の方針 3-1 家庭生活における男女共同参画の促進

推進施策28 家庭生活における男女共同参画に向けた男性の意識と能力の向上

[文化市民局, 教育委員会]

- ◆男性を対象とした講座等の充実
- 啓発情報誌等による広報・啓発の推進
- <再掲>「おやじの会」の取組の推進 (⇒推進施策12)

(参照) 推進施策57 男女共同参画を進める人材の育成

推進施策29 生活者の視点に立った男女の消費生活の向上 [文化市民局]

- ◆消費生活に関する講座や教室の充実
- ◆啓発情報誌等の発行
- ◆消費生活相談の実施

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
消費者教室・セミナー等の開催 (文化市民局 市民総合相談課)	市民を対象に開催する経済・契約・衣食住等に関する講座	◇消費者生活講座 ⑱4回, 145人→⑲5回, 210人 ◇消費者教室 ⑱1回, 50人→⑲0回 ◇市民料理教室 ⑱5回, 500人→⑲5回, 500人
生活情報誌の発行 (文化市民局 市民総合相談課)	消費生活相談事例などを掲載する生活情報誌「マイシテイライフ」の発行	発行 ⑱年4回, 各40,000部 →⑲年4回, 各40,000部 配布対象 市民一般
消費生活相談の実施 (文化市民局 市民総合相談課)	消費者トラブルの解決のための助言やあっせんなどの苦情処理を実施	消費生活相談件数 ⑱7,952件→⑲7,692件 (対前年比3.3%減)

推進施策30 男女が共に家庭生活に参画できる就業環境の整備 [文化市民局]

- ◆<再掲>育児休業や介護休業などの制度の定着と利用促進 (⇒推進施策19)
- ◆<再掲>労働時間の短縮等に向けた広報の推進 (⇒推進施策19)
- ◆<再掲>フレックスタイム制など自律的な働き方の普及 (⇒推進施策19)
- ◆<再掲>仕事と家庭生活の両立支援に取り組む企業等の奨励
(「きょうと男女共同参画推進宣言」事業者登録制度の実施など) (⇒推進施策19)

施策の方針 3-2 多様なライフスタイルに応じた子育て支援の充実

推進施策31 男女が共に安心して子育てできる保育環境の整備 [保健福祉局]

- ◆<再掲>地域の保育需要に合わせた受入れ体制の整備 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>低年齢児保育, 昼間里親事業の充実 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>延長保育, 休日保育, 一時保育, 夜間保育の充実 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>乳幼児健康支援サービスの充実 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>障害児保育の充実 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>児童館の整備 (⇒推進施策20)
- ◆<再掲>学童クラブ事業の拡充 (⇒推進施策20)

推進施策32 地域における子育て支援の充実〔保健福祉局，教育委員会〕

- ◆子育て支援総合センター「こどもみらい館」における取組の充実
- ◆子どもネットワークの充実
- ◆保育所地域活動事業の充実
- ◆＜再掲＞ショートステイ事業・トワイライトステイ事業の拡充（⇒推進施策20）
- ◆地域に開かれた子育て支援事業の充実
- ◆＜再掲＞育児の相互援助活動を支援するファミリーサポート事業の充実（⇒推進施策20）
- 子育て支援いきいきセンター（つどいの広場）事業の充実
- ◆私立幼稚園における地域子育て相談事業の充実
- 市民の自主的な子育て支援活動への支援
- 育児支援家庭訪問事業の実施

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
子育て支援事業 (教育委員会 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館)	保育所(園)・幼稚園，私立・市立・国立の垣根を越えた子育て支援の中核施設としての様々な事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ◇入館者数 ⑱403,861人→⑲401,551人 ◇子育て相談 <ul style="list-style-type: none"> ・対面相談⑱2,894件→⑲2,122件 ・健康相談⑱135件→⑲90件 ・電話相談⑱988件→⑲956件 ◇講座・教室 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てパワーアップ講座 ⑱60回2,783人→⑲53回2,479人 ・子育てセミナー ⑱14回564人→⑲12回486人 ・子育て井戸端会議 ⑱84回2,115人→⑲80回2,389人 ・すくすく教室 ⑱6回217組→⑲6回217組 ◇子育て図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出人数 ⑱41,214人→⑲43,051人 ・貸出点数 ⑱175,986点→⑲178,048点 ◇研修事業(共同機構) ⑱12回1,803人→⑲2,099人 ◇研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児子育て支援研究プロジェクト 「親のニーズから見る子育て支援の方向性」をメインテーマにしたワークショップを3回開催 ・就学前教育研究プロジェクト 「『幼児期につけておきたい力』を育むための環境と保育者の援助」をテーマとし、毎月事例をまじえての話合と公開保育(1回)を実施 ・地域で結ばれた事例研究プロジェクト ①地域の福祉施設との連携事例(2園)②地域の神社仏閣・商店街・地域住民との連携事例(3園)③地域の関係機関との連携事例(3園)の3つに分類し視察調査・研究 ◇研修室・会議室の利用 ⑱2,368回→⑲2,450回 ◇ボランティア養成(登録数657人) 元氣ランド，図書館・読み聞かせ，電話相談ボランティア，地域子育て支援ボランティア

子どもネットワークの運営 (保健福祉局 児童家庭課)	子どもの人権擁護と子育てを総合的・一体的に支援するため、地域レベル、行政区レベル、全市レベルといった重層的なネットワークを構築	京都子どもネットワーク連絡会議開催 ◇全体会議 1回 ◇進捗管理部会 1回 ◇京都市機関連絡推進会議 1回 ◇課題別検討会議 1回(児童虐待防止対策) ◇子ども・子育ていきいきフェア作業部会 5回
保育所地域活動事業 (保健福祉局 保育課)	保育所の子育てに関する専門的機能を活用し、子育て相談や講座等を開催	地域子育てステーション事業実施箇所数(保育所分のみ) ⑱114箇所→⑲118箇所
地域子育て支援ステーションの運営 (保健福祉局 児童家庭課)	H10年5月から、保育所・児童館を「地域子育て支援ステーション」として順次指定 地域子育て支援ステーションを小学校区を単位として身近な地域に設置できるよう努める。	指定箇所数 ⑱150箇所→⑲160箇所
深草ふれあいらんど (深草支所 支援保護課)	就学前の乳幼児と保護者が色々な遊びを経験する場を提供するとともに、親同士のつながりを深めるきっかけづくりの機会となる子育て支援イベント(あわせて子育ての相談を気軽に利用できる場を提供)	年2回開催 延べ参加者 ⑱400人→⑲574人(年々、参加者も増加し、好評を得ている。) 協力機関 地域子育て支援ステーション、地域子育て支援拡充事業実施保育所、主任児童委員、伏見保健所深草支所、深草子ども支援センター
子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業の充実 (保健福祉局 児童家庭課)	子育て中の親子(主に乳幼児とその親)が気軽に集い、交流できる場を提供するとともに、子育てアドバイザーを設置することにより専門的な観点から保護者の相談に対応、また子育て支援関連情報の提供、子育てに関する講習会等を実施 <目標値> 実施箇所数 20箇所(H21年度)	実施箇所数 ⑱4箇所→⑲9箇所
(社)京都市私立幼稚園協会「特色ある幼稚園教育推進事業」 (教育委員会 総務課)	(社)京都市私立幼稚園協会が、本市と連携のもと、私立幼稚園で子育て相談などの事業を実施	市内私立幼稚園97ヶ園で実施 内容 子育て相談の実施、絵本読み聞かせ講座の実施、園庭・園舎開放事業、預り保育の充実など 予算 ⑲45,000千円
子育て支援ボランティアバンク事業 (保健福祉局 児童家庭課)	広く子育てに関心のある方にバンクに登録していただき、児童館や地域の子育て支援の場を支えるボランティアの人材を育成するとともに、安心して活動できる場を提供していくことにより、子育てボランティアの活動を支援	登録者数 ⑲70人

育児支援家庭訪問事業の実施 (保健福祉局 児童家庭課, 健康増進課)	児童の養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問などによる支援を実施することにより、当該家庭の養育機能を回復させ、安定した児童の養育を図る。 【実施機関：福祉事務所（子ども支援センター）及び保健所】	◇福祉事務所 訪問実家庭数 ⑱113件→⑲140件 訪問延べ回数 ⑱1,114回→⑲1,238回 ◇保健所 訪問実家庭数 ⑱1,090件→⑲1,036件 訪問延べ回数 ⑱1,560回→⑲1,596回
(参照) 推進施策47 乳幼児のすこやかな発育・発達の支援		

推進施策33 子育てにかかる経済的負担の軽減〔保健福祉局，都市計画局，教育委員会〕

- ◆保育料の軽減
- ◆乳幼児医療費助成制度の拡充
- ◆特定優良賃貸住宅における家賃補助
- ◆私立幼稚園就園奨励費，教材費の補助

保育料の軽減 (保健福祉局 保育課)	国徴収基準を大幅に下回る本市独自の保育料を設定	対国基準比率70.4% (予算数値)
乳幼児医療費助成事業 (子ども医療費支給事業) (保健福祉局 地域福祉課)	乳幼児にかかる医療費の一部を助成	H19年9月に入院の対象を小学生に拡大する等の拡充を行い、制度名称を「子ども医療費支給事業」とした。 受給者数 ⑱66,626人→⑲69,697人 受診件数 ⑱469,523件→⑲477,494件
都心4区における特別家賃補助 (都市計画局 住宅政策課)	都心4区(上京, 中京, 東山, 下京)の特定優良賃貸住宅に、本市独自の特別家賃補助を実施(18歳未満で同居する子どものいる世帯に対し、1人につき5,000円補助) H17年度から新規認定を廃止	子育て世帯補助世帯数 ⑱348世帯→⑲301世帯
京都市私立幼稚園就園奨励費事業，京都市私立幼稚園教材費補助事業 (教育委員会 調査課，総務課)	保護者が支払う私立幼稚園の保育料を補助	私立幼稚園就園奨励補助金 ⑲実績額1,068,330千円 私立幼稚園児教材費補助 ⑲実績額182,520千円

推進施策34 ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進〔保健福祉局，都市計画局〕

- ◆＜再掲＞母子生活支援施設における保護・生活援助（⇒推進施策3）
- ◆母子福祉センターにおける事業の充実
- ◆母子家庭等医療費支給事業の実施
- ◆ひとり親家庭日常生活支援事業の実施
- ◆母子家庭自立支援給付金事業の実施
- ◆母子寡婦福祉資金貸付事業の実施
- ◆母子家庭市営住宅優先入居の実施

<p>母子福祉センター運営 (保健福祉局 児童家庭課)</p>	<p>ひとり親世帯の就業・自立に係る相談や技能習得を図り、また、各種のサークル活動等を通じてひとり親相互の交流を深める施設として運営</p>	<p>◇相談事業（電話・来所） ⑱116件→⑲95件 ◇就業相談（電話・来所） ⑱383件→⑲306件 ◇就職セミナー ⑱6回，86人→⑲6回，81人 ◇法律相談 ⑱83件→⑲69人 ◇パソコン講習会 ⑱10人×4クラス →⑲10人×4クラス ◇ファミリーネットワーク事業 （開催回数，母子合計参加者数） ⑱6回，205人→⑲6回，179人 ◇サークル・会合での利用 （回数，延べ利用者数） ⑱66回，558人→⑲92回，669人</p>
<p>母子家庭等医療費支給事業 (保健福祉局 地域福祉課)</p>	<p>母子家庭の児童及び母等の医療費の一部を支給</p>	<p>受給者数 ⑱28,180人→⑲28,550人 受診件数 ⑱319,987件→⑲323,752件</p>
<p>ひとり親家庭日常生活支援事業 (保健福祉局 児童家庭課)</p>	<p>就職活動，疾病，出張等により一時的に生活補助，保育サービスが必要な場合に，家庭生活支援員の派遣等を行うことにより日常生活の支援を行う。</p>	<p>派遣回数 ⑱1,881回→⑲1,303回</p>
<p>母子家庭自立支援給付金事業（自立支援教育訓練給付金事業・高等技能訓練促進費事業） (保健福祉局 児童家庭課)</p>	<p>母子家庭の母が技能習得を行う際に給付金を支給</p>	<p>◇自立支援教育訓練給付金事業 講座指定件数 ⑱84件→⑲70件 給付件数 ⑱71件→⑲58件 ◇高等技能訓練促進費事業 給付者数 ⑱13人→⑲19人</p>
<p>母子寡婦福祉資金貸付事業 (保健福祉局 児童家庭課)</p>	<p>母子家庭や寡婦の方の経済的自立をお手伝いし，生活の安定や子どもの福祉の増進を図るために，各種資金の貸付けを行う。</p>	<p>貸付実績 ⑱843件→⑲762件</p>
<p>特定目的住宅(母子世帯)の募集 (保健福祉局 児童家庭課， 都市計画局 住宅政策課)</p>	<p>入居者募集に母子世帯の募集枠を設定 （事務は保健福祉局が担当し，福祉事務所等が窓口）</p>	<p>募集戸数 ⑱51戸→⑲43戸 申込者 ⑱252人→⑲225人 倍率 ⑱4.9倍→⑲5.2倍 入居者 ⑱34件→⑲31件</p>

推進施策35 子どもの虐待防止対策の推進〔保健福祉局，教育委員会〕

- ◆対応マニュアルの作成及び研修・啓発活動の実施
- ◆児童虐待防止ネットワークの整備

○＜再掲＞育児支援家庭訪問事業の実施（⇒推進施策32）

対応マニュアルの作成，研修の実施 (保健福祉局 児童家庭課)	各種リーフレット等の活用，シンポジウムの開催等による子どもの虐待に対する啓発活動の推進	「あした笑顔になあれ」（子どもSOS児童虐待防止ウェブサイト）アクセス件数 ⑱223,616件→⑲301,452件
虐待防止に向けた教職員研修 (教育委員会 地域教育専門主事室)	教職員・PTAを対象とした虐待防止に向けた研修及び虐待を回避する力をつけるための授業の研修を実施	開催回数 ⑱10回→⑲8回
児童虐待防止ネットワークの整備 (保健福祉局 児童家庭課)	全市レベルの子育て支援ネットワークとなる京都子どもネットワーク連絡会議を中心に，行政区レベルや地域レベルでのネットワークを充実	京都子どもネットワーク連絡会議「要保護児童対策・虐待防止部会」の開催 1回
(参照) 推進施策7 ジェンダーに関する調査・研修の推進		

施策の方針3-3 高齢者や障害のある人が安心して暮らせる環境の整備

推進施策36 介護サービスの充実や質的向上〔文化市民局，保健福祉局〕

- ◆特別養護老人ホーム，介護老人保健施設等の整備
- ◆介護サービスの評価と苦情処理体制の整備
- ◆配食サービス，緊急通報システム等の支援の充実
- ◆訪問介護（ホームヘルプサービス），通所介護（デイサービス），短期入所，生活介護（ショートステイ）等の支援の充実
- ◆家族向け介護実習の実施
- ◆介護利用型軽費老人ホーム（ケアハウス），養護老人ホームの整備
- ◆介護サービスに携わる職員の質的向上研修の実施

○啓発情報誌等による広報・啓発の推進

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
老人ホームの整備 ・特別養護老人ホーム ・ケアハウス (保健福祉局 長寿福祉課)	寝たきり高齢者や認知症高齢者等の介護を要する高齢者等への安定した生活の場の提供 <目標値> 特養定員数整備目標4,470人（H20年度），ケアハウス定員数整備目標670人（H20年度）	運営実績（特養定員数） ⑱4,093人→⑲4,213人 運営実績（ケアハウス定員数） ⑱577人→⑲577人
京都市介護サービス評価事業／苦情処理体制の整備 (保健福祉局 介護保険課)	事業者の提供するサービスの質を事業者及び利用者又は家族が評価し，評価結果を公表 区役所・支所の福祉介護課を，介護保険制度全般に関する苦情・相談に対応する窓口と位置付けて対応	苦情・相談件数 ⑱232件→⑲177件 評価事業はH16年度で廃止
緊急通報システム事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	ひとり暮らし高齢者等に対し，消防局に即時に通報できる専用装置を貸与	設置台数（20年3月末現在） ⑱11,596台→⑲11,528台
家族介護用品給付事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	要介護4以上の高齢者を介護している市民税非課税世帯の家族に対し，介護保険の給付対象外となる介護用品と交換できる給付券を交付	利用登録者数 ⑱1,892人→⑲1,983人

徘徊高齢者あんしんサービス事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	小型発信機 (PHS又はGPS) の位置特定サービスを利用し、徘徊高齢者等を早期に発見する事業	利用登録者数 ⑱81人→⑲84人
老人福祉員設置事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	ひとり暮らし高齢者等を対象に、市長が委嘱する老人福祉員が安否確認や話し相手等として訪問	老人福祉員設置数 ⑱1,214人→⑲1,214人
日常生活用具給付等事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	ひとり暮らしや認知症のある高齢者等に対し、火災警報器や電磁調理器等の日常生活用具を給付	日常生活用具の給付件数 ⑱1,258件→⑲1,548件
入浴サービス助成事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者等に対して入浴サービス (施設入浴, 送迎入浴) を提供	入浴サービス利用件数 ⑱2,393件→⑲2,316件
配食サービス助成事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者への栄養のバランスがとれた昼食の提供, 併せて安否確認	実配食数 ⑱370,810食→⑲392,429食
すこやかホームヘルプサービス (保健福祉局 長寿福祉課)	介護保険の対象にはならないが、在宅生活を維持するために援助が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣	派遣世帯数 (3月末現在) ⑱129世帯→⑲129世帯
健康すこやか学級 (保健福祉局 長寿福祉課)	概ね65歳以上の自立認定者等を対象に健康づくり等の講座を開催	実施箇所数 ⑱169箇所→⑲174箇所 実施回数 ⑱2,955回→⑲3,418回
老人デイサービス事業の拡充 (保健福祉局 長寿福祉課)	通所や訪問により入浴や給食等各種サービスを提供する老人デイサービス事業の拡充	運営実績 ⑱77箇所→⑲79箇所
老人短期入所 (ショートステイ) 事業の充実 (保健福祉局 長寿福祉課)	短期入所生活介護 (ショートステイ) 事業の充実	運営実績 (年度末定員数) ⑱651人→⑲671人
認知症高齢者ホームケア促進事業の充実 (保健福祉局 長寿福祉課)	認知症高齢者が介護保険による短期入所生活介護を利用する際に、専門スタッフにより介護上の課題を分析し、家族に対して個別の介護方針, 技術等を習得させることにより、在宅生活の維持・継続を図る事業	相談件数 ⑱1件→⑲4件 申請件数 ⑱0件→⑲1件 実施者数 ⑱0人→⑲0人
洛西ふれあいの里保養研修センター運営事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	京都市洛西ふれあいの里介護実習・普及センターでの市民向け講座の開催	◇テーマ別介護講座 延べ受講者数⑱270人→⑲262人 ◇ステップアップ講座 受講者合計⑱27人→⑲162人 ◇上記のほか要望に応じ、リクエスト講座等開講, 個別相談も受付
洛西ふれあいの里保養研修センター運営事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	洛西ふれあいの里保養研修センターにおける研修の実施	延べ受講者数 (保養研修センター主催) ◇基礎研修 ⑱539人→⑲557人 ◇専門課題別研修 ⑱449人→⑲1,699人 ◇資格取得研修 ⑱1,567人→⑲1,139人 (介護・実習普及センター主催) ◇専門職対象研修 ⑱1,704人→⑲942人

認知症介護実践研修の開催 (保健福祉局 長寿福祉課)	認知症高齢者の介護に関する実践的研修の実施	修了者数 ◇実践者研修 (3回) ⑱143人→⑲169人 ◇実践リーダー研修 (1回) ⑱20人→⑲23人
高齢者介護専門研修の開催 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者の介護に携わる職員を対象とした研修の実施	開催回数 ⑱12回→⑲11回 参加者数 ⑱792人→⑲1,261人
ホームヘルパー養成研修1級課程の開催 (保健福祉局 長寿福祉課)	訪問介護事業に従事するチーフヘルパー (及び就任予定者) を対象とした研修の実施	修了者数 ⑱21人→⑲0人
事業者連絡会, 介護支援専門員研修等の開催, 関係団体が実施する研修事業への支援 (保健福祉局 介護保険課)	介護支援専門員等介護サービスに携わる職員の資質向上のために各種研修や説明会等を実施	◇事業者連絡会議 全市 ⑱123回→⑲127回 ◇ケアプラン研修 参加人数 ⑱189人→⑲167人
「すこやか進行中!!～高齢者のためのサービスガイドブック～」の発行 (保健福祉局 長寿福祉課)	介護保険制度及び高齢者保健福祉施策を総合的に紹介し, 要介護高齢者から元気な高齢者まで, 地域の高齢者やその家族がサービスを利用するときの手引書となるよう, サービスの内容, 利用手続, 利用者負担, 相談連絡先等を掲載した冊子を作成し, 発行	形状 A4 88頁 4色刷り 発行時期 6月上旬 印刷部数 90,000部 主な配布先 各区役所・支所福祉介護課, 支援(保護)課, 各保健所, 各コミュニティセンター, 各地域包括支援センター等

推進施策37 高齢者の生活や介護等に関する専門相談体制の充実〔保健福祉局〕

◆長寿すこやかセンター等における専門相談体制の充実

長寿すこやかセンターの運営 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者の社会参加等の促進と, 介護に関する相談, 研究, 研修や, 多様な施策を推進する施設の整備, 運営	利用状況 (延べ件数) 介護相談 ⑱603件→⑲346件 法律相談 ⑱290件→⑲273件 高齢者権利擁護相談 ⑱629件→⑲260件
-----------------------------------	---	---

推進施策38 高齢者の社会参加の支援〔保健福祉局, 教育委員会〕

- ◆「市民すこやかフェア」の開催
- ◆講演会・シンポジウム等の開催
- ◆老人クラブ活動への支援
- ◆全国健康福祉祭 (ねんりんピック) への参加者派遣
- ◆シルバー人材センターへの支援
- ◆「ゴールデン・エイジ・アカデミー」の充実

市民すこやかフェア開催事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	京都市と高齢者福祉に関係の深い団体により実行委員会を構成し, 市民すこやかフェアを開催 (高齢者をはじめとする市民が, 気軽に参加できる催しを通じて, 長寿社会を考える機会を提供するための高齢者総合福祉イベント)	開催 9月1日～2日 会場 みやこめっせ他 内容 すこやか健康ウォーク, 舞台発表, 作品展示, 健康相談, 体力診断等 参加人数 ⑱18,000人→⑲18,000人
すこやか講演会, 講座・体操教室 (保健福祉局 長寿福祉課)	学校の余裕教室等を活用し, 介護予防や交通安全, 健康に関することなど, 様々なテーマでのミニ講座や, すこやか体操, うた, 書道, 手芸等の活動を実施	⑱169箇所→⑲174箇所 延利用者数 ⑱63,672人→⑲71,388人
講演会・シンポジウム等の開催	別表5「講演会一覧」(P63)参照	

老人クラブ補助等事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	老人クラブ、市・区老人クラブ連 合会に対して活動費の一部を補助	老人クラブ数 ⑱1,182クラブ→⑲1,157クラブ 老人クラブ会員数 ⑱66,721人→⑲65,093人
全国健康福祉祭参加者派遣 等事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	全国健康福祉祭へ京都市代表選手 団を派遣	第20回全国健康福祉祭いばらき大 会 実施日 11月10日～13日 派遣人数 ⑱161人→⑲174人
シルバー人材センターへの 支援 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者向けの臨時的・短期的な仕 事を把握、提供するシルバー人材 センターの事業に対する助成	会員数 ⑱4,464人→⑲4,699人 (内訳) 男性⑱2,803人→⑲2,929人 女性⑱1,661人→⑲1,770人 受注件数 ⑱25,512件→⑲26,685件 契約金額 ⑱1,579,517千円 →⑲1,521,503千円
「ゴールデン・エイジ・ア カデミー」の充実 (教育委員会 生涯学習総合センター事 業課、生涯学習総合セン ター山科)	市内在住の方又は、市内に通勤通 学の方を対象に、講演会と実技教 室を実施	(開催回数、延べ受講者数) ◇京都アスニー ⑱44回, 22,370人 →⑲47回, 24,881人 ◇アスニー山科 (1)アスニー山科講演会 ⑱46回, 10,314人 →⑲47回, 11,139人 (2)京都アスニー講演会同時中継 ⑱44回, 2,557人 →⑲47回, 2,925人
はつらつ高齢者まちづくり 支援事業の実施 (保健福祉局 長寿福祉課)	高齢者が長年培った経験を活か し、自主的なグループ活動等を通 じ、自らの生きがいを高め、地域 の活性化に寄与する活動に対し、 補助金を交付する。	支援グループ ⑱4グループ→⑲5グループ 補助金交付額 ⑱2,790千円→⑲2,192千円

推進施策39 障害のある人への支援の充実〔保健福祉局〕

◆スポーツ・芸術文化活動等の実施による社会参加の支援

◆就労移行支援・就労継続支援施設等の整備による能力向上や就業支援の充実

障害者体育大会 (保健福祉局 障害保健福祉課)	スポーツを通じた社会参加を促進 するため、障害のある人の体育大 会を開催	第19回京都市障害者体育大会 実施日 6月10日 参加者 ⑱1,200人→⑲1,200人
全国障害者スポーツ大会へ 京都市選手団を派遣 (保健福祉局 障害保健福祉課)	身体障害者及び知的障害者が参加 する障害者スポーツの全国大会へ の派遣	第7回全国障害者スポーツ大会 実施日 10月13日～15日 派遣人数 ⑱50人→⑲52人
授産施設や福祉工場の整備 ・整備補助 (保健福祉局 障害保健福祉課)	障害のある市民が地域で自立した 生活を送れるよう、能力向上や就 業機会を確保するための授産施設 や福祉工場の整備・整備補助	通所施設・福祉工場 ⑱1,360人分→⑲1,390人分
心の輪を広げる障害者理解 促進事業 (保健福祉局 障害保健福祉課)	「心の輪を広げる体験作文」及び 「障害者週間のポスター」を公募 し、部門ごとに優秀作品を表彰す るとともに、内閣府へ推薦	応募総数 ⑱45点→⑲32点

「総合支援学校生徒の進路開拓を目指す巣立ちのネットワーク」の取組の推進 (教育委員会 総合育成支援課)	企業・福祉関係等の構成団体による総合支援学校生徒の進路先確保に向けた職場開拓の検討、協議・情報交換、及び事業主を対象とした総合支援学校の教育啓発事業「障害のある市民の雇用フォーラム」の実施	障害のある市民の雇用フォーラム 実施日 ⑬11月6日→⑭11月5日 参加団体数 ⑬61→⑭54
「総合支援学校デュアルシステム」の推進 (教育委員会 総合育成支援課)	総合支援学校高等部職業学科において、1人1人の就職希望の実現を目指し、総合支援学校での学習と企業での実習を計画的に連携・実施することにより、企業の求める人材を育成する。	高等部職業学科生徒就職率(人数) ⑬100%(42人)→⑭100%(41人)

推進施策40 高齢者や障害のある人の権利擁護の推進〔保健福祉局〕

◆高齢者・障害者権利擁護ネットワークの運営

○成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の周知

○認知症あんしん京（みやこ）づくり推進事業の実施

高齢者・障害者権利擁護ネットワークの運営 (保健福祉局 長寿福祉課, 障害保健福祉課)	高齢者・障害者の権利擁護対策等の推進を図る「京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク運営会議及び連絡会議」の運営	運営会議の開催(12月) 連絡会議の開催(1月)
成年後見制度や地域福祉権利事業の周知 (保健福祉局 障害保健福祉課, 長寿福祉課)	判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者のうち、身寄りがない場合など、4親等内の親族等の当事者による申立てが期待できない状況にあるものについて、当事者による審判請求を補充し、成年後見制度の利用を確保する。	市長申立件数 知的障害者 ⑬9件→⑭3件 精神障害者 ⑬3件→⑭2件 認知症高齢者 ⑬21件→⑭27件
認知症あんしん京（みやこ）づくり推進事業 (保健福祉局 長寿福祉課)	市民に対し、認知症に関する知識と対応方法等の普及及び啓発を推進し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて、市民自らによる展開を図る。	認知症あんしんサポーター養成 ⑬3,854人→⑭5,418人 認知症あんしんサポートリーダーの養成 ⑬274人→⑭732人

推進施策41 人に優しいまちづくりの推進〔保健福祉局，都市計画局，建設局〕

- ◆公共建築物のバリアフリー改修の推進
- ◆高齢者や障害のある人の生活に配慮した公営住宅の供給
- ◆高齢者向け優良賃貸住宅の供給
- ◆高齢者等リフォーム融資制度の実施
- ◆高齢者等に対する住宅相談の充実
- ◆だれもが安全・快適に利用できる歩行空間ネットワークの整備

○ユニバーサルデザインアドバイザー派遣の実施

<p>公共建築物のバリアフリー化の推進</p> <p>(都市計画局 企画設計課，整備支援課，工務監理課)</p>	<p>公共建築物の新增築又は改修時には，「高齢者，障害者等の移動等の円滑化に関する法律」（バリアフリー新法）及び「京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例」の施設整備基準に基づき，バリアフリー化を推進</p> <p>(注)右欄 EV=エレベーター</p>	<p>◇新築時におけるバリアフリー化への取組（スロープ・手すり・EV・多機能トイレ・音声誘導設置等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝が池公園「新・子どもの楽園」 ・花背小学校，花背中学校 ・元離宮二条城 ・日野小学校 ・伏見工業高等学校キャリアアップ・サポートセンター ・羽束師小学校 等 <p>◇改修時におけるバリアフリーへの取組（スロープ・手すり・多機能トイレ・段差解消等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北，左京，西部土木事務所 ・洛北中学校 ・久世西・下鳥羽・嵯峨小学校 等
<p>「バリアフリー条例」による指導</p> <p>(都市計画局 建築審査課)</p>	<p>市有建築物の新築，増改築，大規模修繕及び模様替えに当たり，バリアフリー化等の指導を実施</p>	<p>◇伏見区総合庁舎（新築）</p> <p>◇伏見工業高等学校（別棟新築）</p> <p>◇成徳中学校（増築）</p> <p>◇花背小中学校（新築）</p>
<p>バリアフリー基本構想の策定</p> <p>(都市計画局 交通政策室)</p>	<p>「京都市交通バリアフリー全体構想」に定められた14の重点整備地区毎に「基本構想」を策定</p>	<p>H19年9月21日「京阪五条・七条」，「桃山御陵前」の3地区の基本構想を策定</p>
<p>交通バリアフリー道路特定事業</p> <p>(建設局 道路計画課)</p>	<p>「京都市バリアフリー全体構想」で選定した14箇所の重点整備地区毎に，バリアフリーな歩行空間を整備するための道路特定事業計画を策定</p>	<p>京阪五条・七条地区，桃山御陵前地区の基本構想の策定を受け，道路特定事業計画を策定</p>
<p>交通施設バリアフリー化設備整備費補助制度</p> <p>(都市計画局 交通政策課)</p>	<p>鉄道事業者等が行う駅舎のバリアフリー化事業に，国及び京都府と協調して，補助金を交付</p> <p>(注)右欄 EV=エレベーター</p>	<p>対象事業者（対象駅：内容）</p> <p>◇京阪電鉄（四条駅：電光式運行情報案内表示装置他，伏見桃山駅：EV2基，多機能トイレ1箇所他，七条駅：EV2基他）</p> <p>◇JR西日本（稲荷駅：EV2基他）</p> <p>◇近鉄電車（桃山御陵前駅：EV2基，多機能トイレ1箇所他）</p>
<p>公営住宅建設事業</p> <p>(都市計画局 すまいまちづくり課)</p>	<p>公営住宅の建設に当たり，住戸内外のバリアフリー化を行うとともに，入居者の形態，家族構成等を考慮した複数の住戸タイプを整備</p>	<p>竣工戸数</p> <p>⑱2箇所223戸→⑲0戸</p>
<p>高齢者等対応住戸改善事業</p> <p>(都市計画局 住宅政策課)</p>	<p>既設の公営住宅の改善事業において，バリアフリー化を実施</p>	<p>高齢者等対応住戸改善戸数</p> <p>⑱35戸→⑲62戸</p>

<p>高齢者向け優良賃貸住宅の供給 (都市計画局 住宅政策課)</p>	<p>低廉な家賃で入居できる優良な高齢者向け住宅の供給促進のため、民間土地所有者等に、整備費用、家賃減額費用等を補助</p>	<p>新規認定戸数 ⑱1団地10戸→⑲なし 管理開始戸数 ⑱なし→⑲なし</p>
<p>京都市あんぜん住宅改善資金融資制度 (都市計画局 住宅政策課)</p>	<p>自己の居住する住宅についてリフォームを行う際に、低利で融資する制度</p>	<p>リフォーム関連融資実績 ⑱9件→⑲2件</p>
<p>すまいよろず相談 (都市計画局 住宅政策課)</p>	<p>市民の住宅に関する相談に応じ、安心して住み続けられる住宅の実現を目指し、建築、保健福祉の専門家が、電話やメールでの相談、窓口相談、及び自宅訪問などにより市民全般を対象としたすまいに関するアドバイスを実施</p>	<p>相談件数 ⑱776件→⑲771件 うち、バリアフリーに関する相談 ⑱9件→⑲7件</p>
<p>みやこユニバーサルデザイン審議会 利用しやすい施設づくり部会の開催 (保健福祉局 保健福祉総務課)</p>	<p>「鉄道駅舎、バスターミナルの新築」事案に限り、当該施設について設計が決定する前に、様々な分野の方々から意見を聴取し審議に諮るとともに、施設完成後においても現地での事後検証を行い、意見を聴取する。</p>	<p>東西線太秦天神川駅・西大路御池駅事後検証</p>